

教科	芸術	科目	美術 I	担当	
履修学年	1年	単位数	2	履修区分	普通科(選択 必履修)
教科書	美術 I (光村図書)				
副教材等					

1 学習目標

幅広い制作活動を通し、美術体験を豊かにすること。美術の楽しさや創造することの喜びを味わい、表現と鑑賞の能力を伸ばすこと。

2 学習評価

評価の観点	科目の評価の観点の趣旨
a 知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。
b 思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
c 主体的に学習に取り組む態度	作品の「表現の工夫・意図」などを理解しようとし、そのよさや美しさを鑑賞している。

3 全体計画

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
					a	b	c		
前期	4	絵画・鑑賞	描画と着彩	4コマ自己紹介 身近なものを描いて着彩する	○	○	○	a→基本的な画材の扱い方を理解し、制作意図に合わせて使い分けることができる。陰影や空間・水彩表現制作に関心を持ち、観察に取り組むことができる。 b→モチーフの構図配置を「空間」を意識して計画することができる。 c→身近な対象の美しさに関心を持ち、主体的に制作に取り組んでいる。	課題作品制作過程 ワークシート 出席数 授業態度
	5								
前期	6	デザイン	ポスター制作	「選挙」をテーマにしたポスター制作	○	○	○	a→画材を正しく扱い、画面を美しく仕上げるができる。 b→テーマに対して情報収集し、自らが伝えることに関心をもって取り組む。伝えたいことを文字・絵を構成することができる。 c→主体的に制作に取り組み、また鑑賞によって理解を深めようとしている。	課題作品制作過程 ワークシート 出席数 授業態度
	8								
前期末考査									
後期	9	彫刻	木彫制作	「にぼし」をモチーフとした木彫制作	○	○	○	a→彫刻刀の使い分けによる表現の違いを理解し、対象の「らしさ」を表す目的をもって取り組むことができる。 b→観察を中心に、彩色まで見通しを持ちながら制作を進めることできる。 c→立体の良さや美しさを味わおうとすることができる。対象を多面的な視点で観察し、立体に関心をもって取り組んでいる。	課題作品制作過程 ワークシート 出席数 授業態度
	11								
後期	11	デザイン	模型制作	「マイ美術館」紙模型制作	○	○	○	a→扱う素材と道具の特性を理解し、アイデアが効果的に表せるよう扱うことができる。 b→デザインの目的や用途を理解し、テーマを設定し創意工夫して制作することができる。 c→普段の生活に関心を持ち、主体的に機能と美しさをもとめて制作することができる。	課題作品制作過程 ワークシート 出席数 授業態度
	2								
		デザイン	模様デザイン	「消しハンで模様デザイン」紙バック制作					
後期末考査									

4 評定の観点別配点(考査以外も含む合計)

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a		35		35
b		35		35
c		30		30
計	0	100	0	100

5 授業や課題等に取り組む上での留意点

「制作した作品」はもちろん、「制作過程の取り組み」「出席数」も評価します
主体的に取り組んでください。